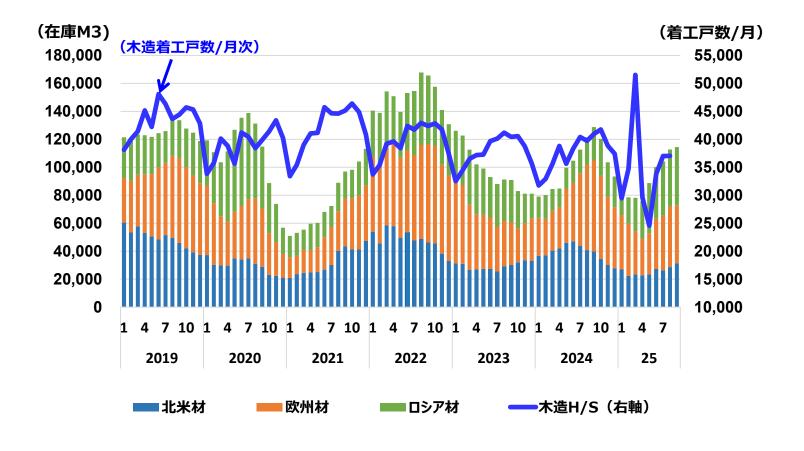
### 「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019~25年

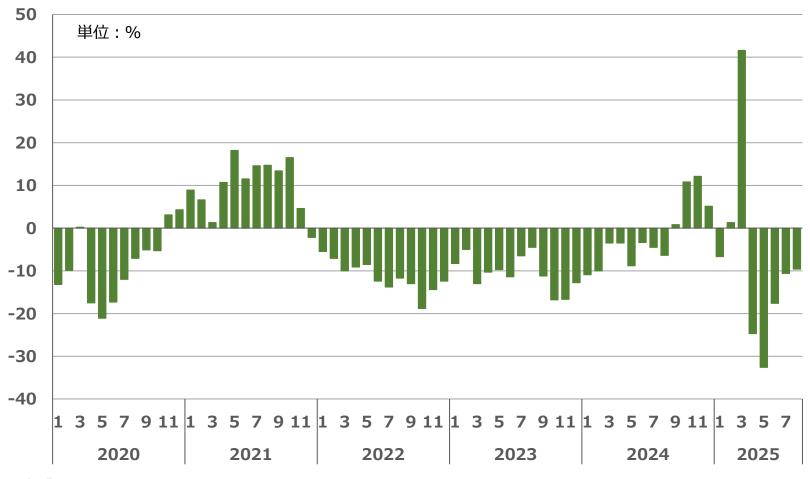
- 〇 2025年9月の東京港製材品在庫量(前年同期比)は、前月から増加したものの、北米材31,412㎡(79%)、欧州材 41,390㎡(64%)は引き続き低位。ロシア材は、コンテナ入荷が引き続き順調で、41,678㎡(174%)と増加傾向。
- 2025年8月の木造着工戸数は**37.046戸(前年同期比93%**)と先月から横ばい。



## 木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

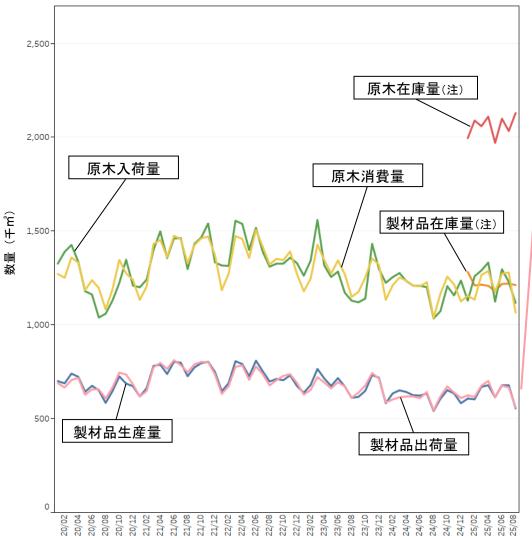
2025年8月の木造持家着工戸数は、15,733戸(前年同期比90%)と7月から横ばい。

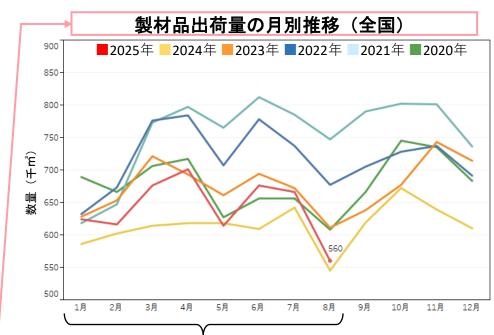


資料:国土交通省「住宅着工統計」

#### 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向製材(全国)

- ・2025年1~8月の原木の入荷量は9,776千㎡(前年比101%)。
- ・同様に製材品の出荷量は5,133千㎡(前年比106%)。





	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1~8月原木入荷 量合計(千m3)	9,916	10,914	11,338	10,318	9,640	9,776
前年との比較	-	110%	104%	91%	93%	101%
1~8月製材品出 荷量合計(千m3)	5,325	5,944	5,764	5,333	4,834	5,133
前年との比較	_	112%	97%	93%	91%	106%

資料:農林水産省「製材統計」

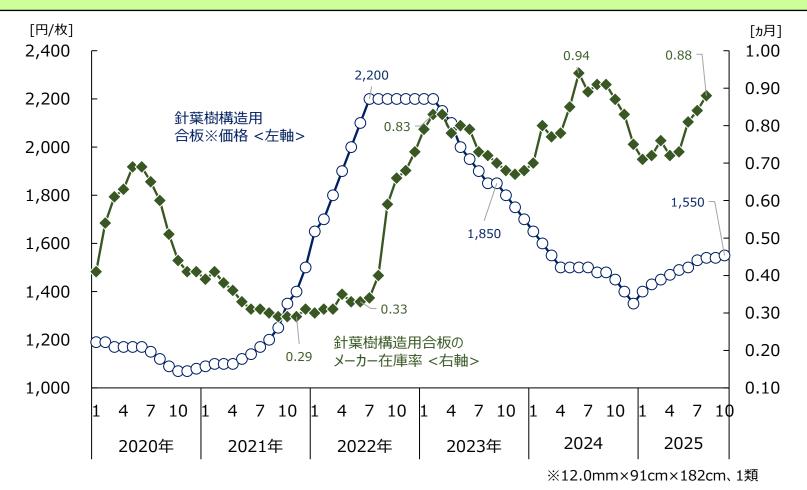
注)原木在庫量、製材品在庫量については、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

(年/月)

## 針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率=当月在庫量/当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

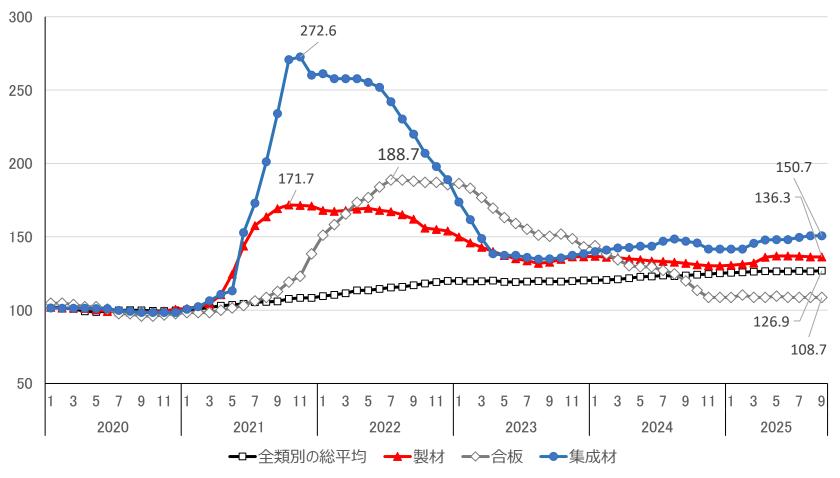
- 2025年8月の在庫率は0.88ヵ月分と7月から0.04ポイント上昇。
- 2025年10月の針葉樹合板価格は1,**550円と先月から上昇**。



資料:農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」 注)2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

# 国内企業物価指数の推移(2000年平均=100)

〇 2025年9月の**企業物価指数(先月比)は、製材136.3(±0)、集成材150.7(±0)、合板108.7(±0)であり、 合板は2024年9月以降下げ止まり**傾向が見られる。



資料:日本銀行「企業物価指数」

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、 2022年5月からは概ね130~150万台で推移。2025年8月は前月比▲8%減の約131万戸。
- 北米の製材価格は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。2025年9月は371ドル/mbf(前月比▲23%減)。
- 〇 日本向けコンテナ運賃は、欧州発、米国発ともに一時期高騰したものの、2023年末時点で概ね元の水準まで下落。 2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時高騰。



米国における住宅着工戸数と製材価格の推移

(製材価格) Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格、2022年6月以降は月中価格)

資料: (住宅着工戸数) 米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜(出典) Drewry 「Container Freight Rate Insight」

資料: 日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移